

令和7年度 三浦半島地域広域幹線道路整備促進に関する

【要望書】

●三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟

横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町

三浦半島は、大都市に近接し、豊かな自然環境と歴史的遺産があり、数多くの観光拠点やブランド力のある農水産物を有しております、これらの魅力をさらに向上させるため、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の三浦半島地域の4市1町では、積極的に連携し、新たな取組み・イベントを進めております。

一方で、人口減少や企業の撤退といった経済・産業面での停滞感が続いている、今後、地域経済のさらなる発展のために、物流の効率化を図る必要があります。また、昨年の元旦に発生した能登半島地震のように、近年は激甚化・頻発化している大規模自然災害に備え、市民の命と暮らしを守るため、二酸化炭素の排出抑制や防災機能の強化が必要です。三浦半島地域は、物流と防災の面で大きな課題があると考えています。

物流面では、国道16号や国道134号などの海沿いの幹線道路に交通が集中し、慢性的な渋滞が大きな損失となっています。

また、圏央道が横浜横須賀道路と接続すると渋滞解消が望まれるだけでなく、東京九州フェリーを活用した海上航路ネットワークが形成され、三浦半島地域が首都圏の玄関口として更なる利便性の向上が期待されます。

防災面では、急傾斜地が多く三方を海に囲まれている三浦半島地域において、同じ半島という地形的な特性である能登半島地震の事例を見ても、土砂崩れ等によって幹線道路が寸断されたことによる、復旧活動や応援物資の弊害などの事例が見受けられました。こうしたことから、大規模災害の対応は、三浦半島という広域で取り組む必要があると考え、現在、4市1町で新たな広域防災体制のあり方等の検討を進めているところです。

また、近年の激甚化・頻発化する大規模自然災害に対し、広域支援に不可欠なダブルネットワークの構築等による交通ネットワークの連携強化が、極めて重要であることを改めて認識しました。

安全で活力と魅力ある三浦半島地域づくりを実現するには、幹線道路ネットワークの整備が急務であり、必要な道路関連事業の財源・予算を確保しなければなりません。

関係者の皆様におかれましては、これらの趣旨をご理解いただき、三浦半島地域にわたる広域幹線道路整備の早期実現に向けて、特段のご配慮を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和7年8月27日

三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟

会長 横須賀市長 上地 克明

要　望　事　項

三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟は、生産性の向上や防災機能の強化とともに、安全で地域を豊かにする広域幹線道路ネットワークの整備について、次のとおり要望します。

- 1 三浦半島地域から主要高速道路へのアクセス向上のため、高速横浜環状南線及び横浜湘南道路の早期整備を図ること。
- 2 三浦半島中央道路、三浦縦貫道路Ⅱ期区間及び都市計画道路西海岸線の早期整備を図ること。
- 3 三浦縦貫道路及び逗葉新道のネットワーク型ＥＴＣの利便性を向上するとともに、三浦縦貫道路は料金引き下げを、逗葉新道は無料化の検討を、進めること。
- 4 国道357号の都市計画決定区間(横浜市八景島一横須賀市夏島町)の早期整備及び南下延伸区間の早期具体化を図ること。
- 5 横浜横須賀道路の(仮称)横須賀PAスマートインターチェンジ整備を支援すること。
- 6 強靭な幹線道路ネットワークと安全・快適に利用できる道路の着実な整備に必要な財源確保と予算枠拡大を図ること。

三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟

会長	横須賀市長	上地克明
副会長	鎌倉市長	松尾崇
副会長	逗子市長	桐ヶ谷覚
副会長	三浦市長	出口嘉一
副会長	葉山町長	山梨崇仁
理事事	横須賀市議會議長	加藤眞道
理事事	横須賀商工会議所会頭	平松廣司
理事事	鎌倉市議會議長	中澤克之
理事事	鎌倉商工会議所会頭	久保田陽彦
理事事	逗子市議會議長	勾坂祐二
理事事	逗子市商工会会長	山上良
理事事	三浦市議會議長	神田眞弓
理事事	三浦商工会議所会頭	奥山浩司
理事事	葉山町議會議長	土佐洋子
理事事	葉山町商工会会長	柳新一郎
顧問	神奈川県知事	黒岩祐治
参与	神奈川県議會議員	亀井たかつぐ
参与	神奈川県議會議員	近藤大輔
参与	神奈川県議會議員	井坂新哉
参与	神奈川県議會議員	石川巧
参与	神奈川県議會議員	飯野まさたけ
参与	神奈川県議會議員	永田磨梨奈
参与	神奈川県議會議員	田中洋次郎
参与	神奈川県議會議員	永井真人